



日本精密株式会社

CODE : 7771

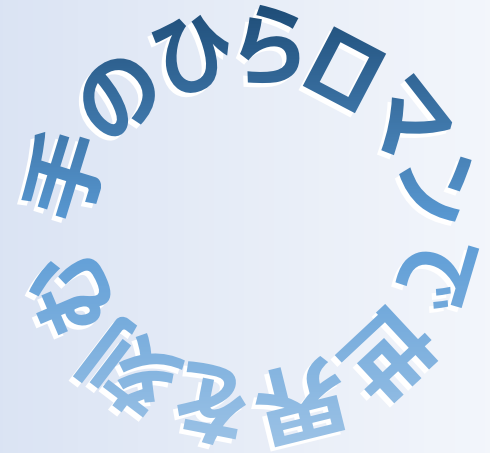
2022年3月期 第2四半期

決算説明資料

2021年12月3日



世界の先駆け
アムロひらの



AGENDA

1. 2022年3月期 第2四半期 決算概要

2. 2022年3月期 通期業績計画

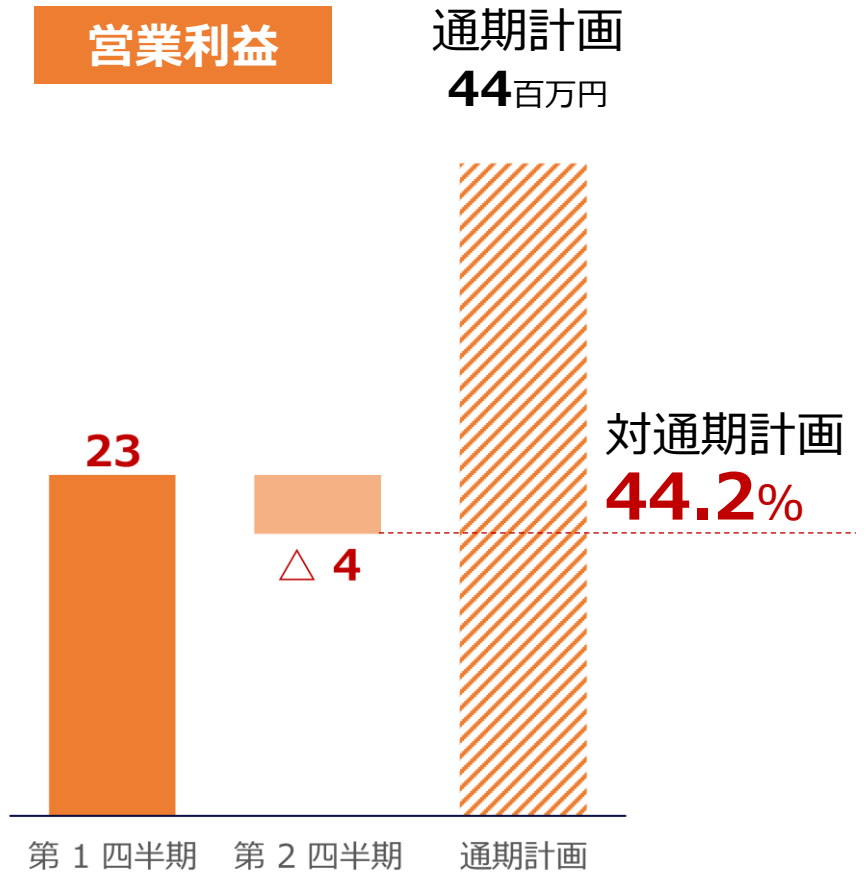
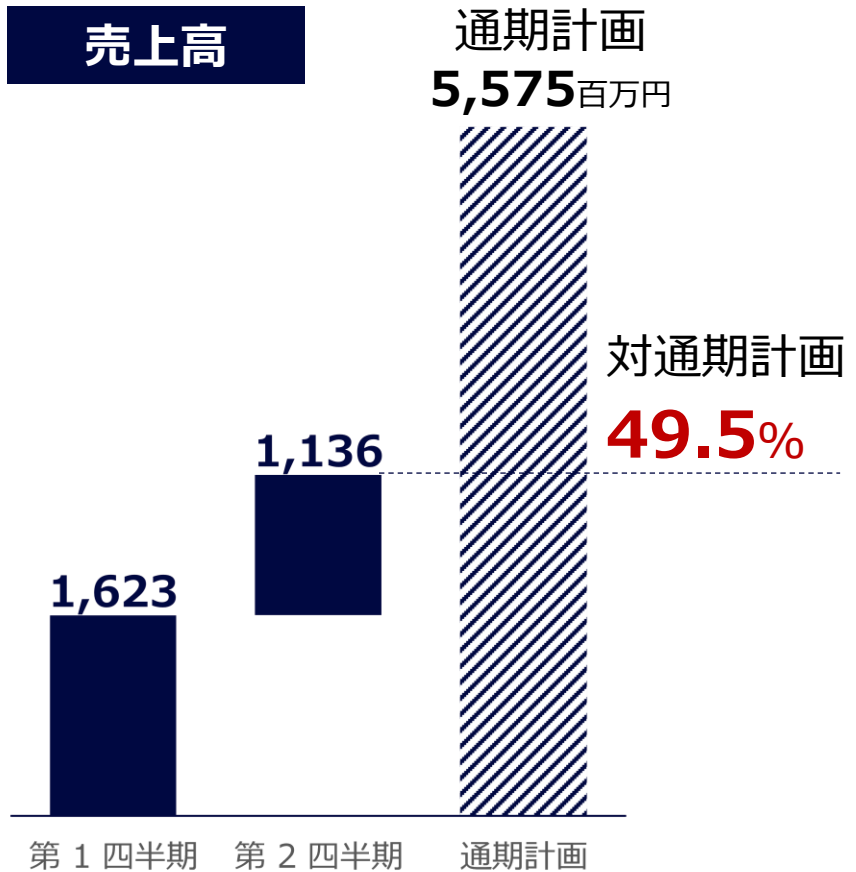
**3. Appendix
会社概要**



2022年3月期 第2四半期 決算概要

2022年3月期 第2四半期総括

全部門受注回復の動きがみられたが、コロナ感染者急増によるホーチミン市がロックダウン、主力工場であるベトナム工場が操業停止し減速。



コロナ禍の影響：ベトナム工場のロックダウンについて

コロナ感染者急増にともない、ホーチミン市においてロックダウン実施。
7月11日～10月10日（3カ月間）工場の操業停止。

経緯

- 7月9日 コロナ感染者急増に伴い、ホーチミン市において、15日間のロックダウンを開始。工業団地の出入りが封鎖されることとなり、工場従業員は一旦、全員帰宅
- 7月11日 現地当局より、工業団地内企業に対し、操業停止要請あり
- 7月13日 現地当局より、生産継続のためには、「工場隔離」（ワーカーを工場敷地内に住まわせ、外部との接触を遮断した環境で操業すること）を条件とする通達あり
- 7月19日 ベトナム南部16省において、7月19日より14日間のロックダウンを開始
- 7月23日 ホーチミン市のロックダウンの期間を8月1日に延長する通達あり
- 8月2日 ホーチミン市のロックダウンの期間を8月16日へ延長する通達あり
- 8月15日 ホーチミン市のロックダウンの期間を9月15日へ延長する通達あり
- 9月15日 ホーチミン市のロックダウンの期間を9月30日へ延長する通達あり
- 10月1日 ホーチミン市のロックダウンを大幅緩和する通達あり
- 10月8日 ベトナム工場へ生産再開の準備（設備・機械の検査・メンテ）を開始
- 10月11日 ベトナム工場の本格生産を再開

生産再開に向けた取り組みの様子



従業員に抗原検査の実施



生産設備メンテナンス

ロックダウン解除後の稼働状況：コロナ前に近い状況まで復旧



【ベトナム工場出勤状況】（11月30日時点）

従業員総数 1,190名

（マタニティー等長期休暇：69名、カンボジア赴任者：7名、コロナ隔離：85名を含む）

出勤登録者数* 1,019名（従業員総数の85.6%）

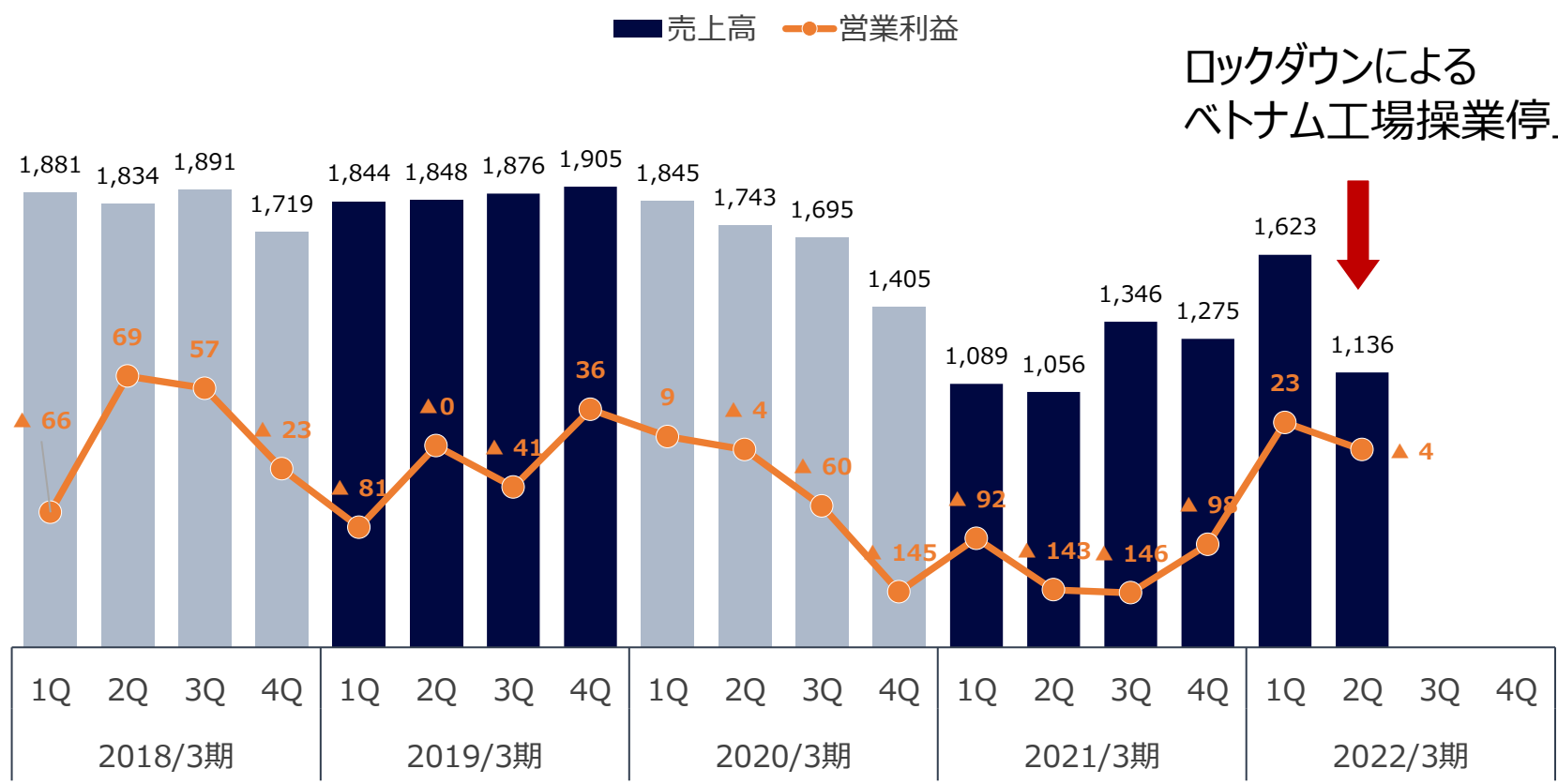
出勤者数 960名（従業員総数の80.7%、登録者数の94.2%）

※出勤登録条件：ワクチン2回接種済、またはワクチン1回目接種から14日間経過 かつ、抗原検査で陰性と判定されること

2022年3月期 第2四半期 決算概要

四半期毎業績推移

第2四半期は、コロナ禍によるベトナム工場の操業停止の影響を受け減速したが、前々期から取り組む事業構造改革の効果もあり第2四半期累計では営業黒字を確保



単位：百万円

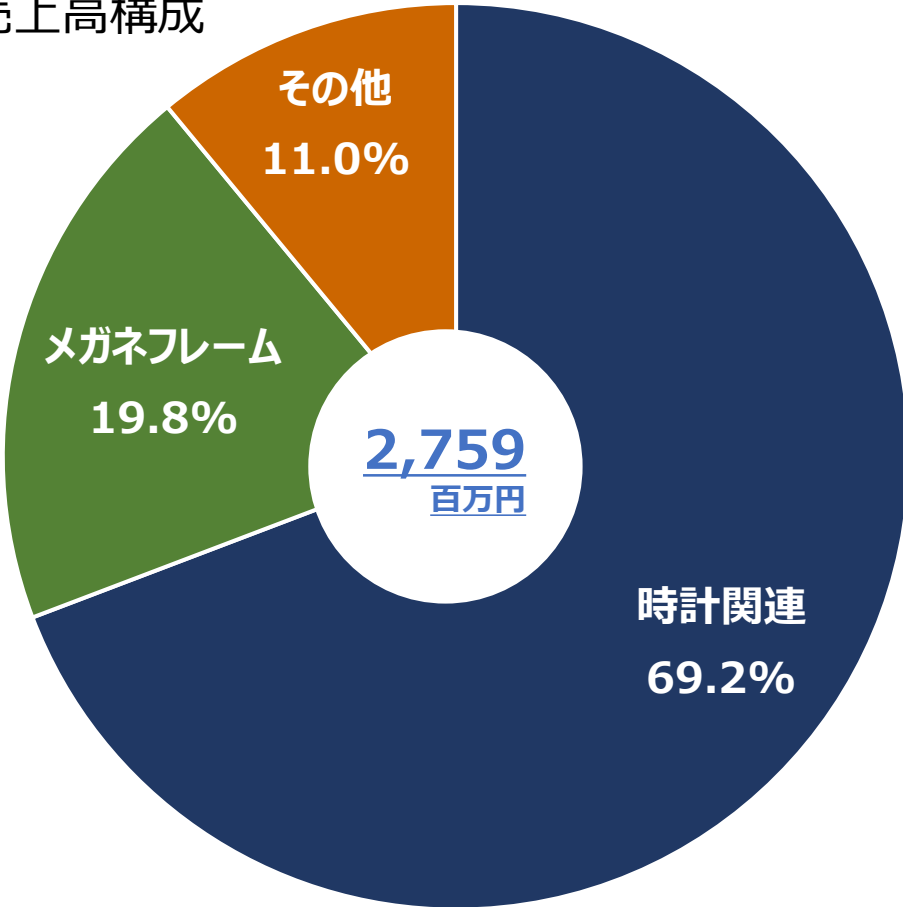
	2022年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	前年同期比較	
			増減額	増減率
売上高	2,759	2,145	+613	+28.6%
売上総利益	576	341	+234	+68.6%
販売費及び 一般管理費	557	578	△21	△3.6%
営業利益	19	△236	+255	-
経常利益	1	△339	+340	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△171	△397	+226	-

【特別損失】
 事業構造改善費用：33百万円
 災害による損失：122百万円

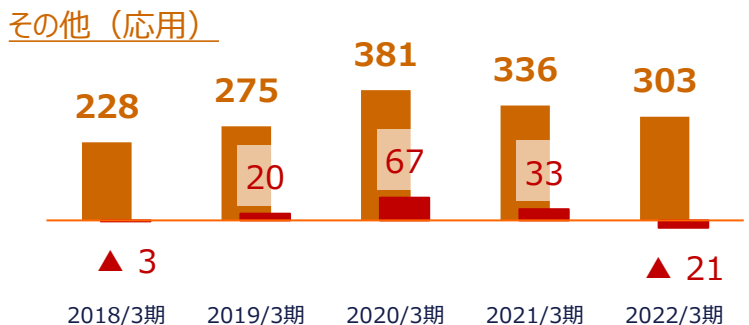
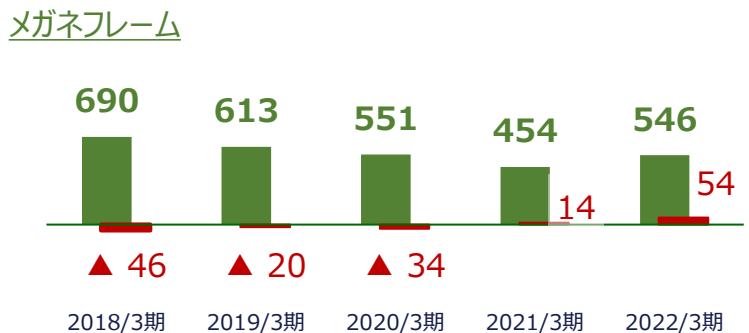
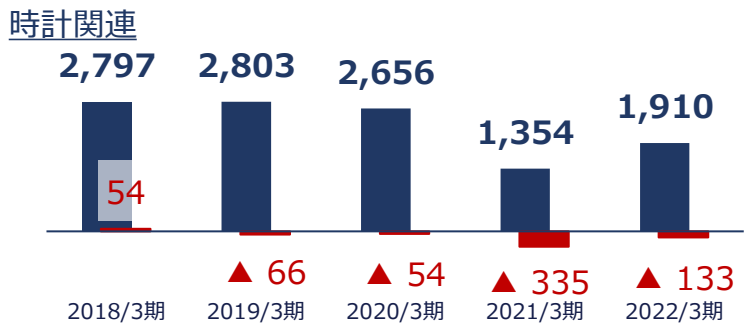
2022年3月期 第2四半期 決算概要 報告セグメントの状況



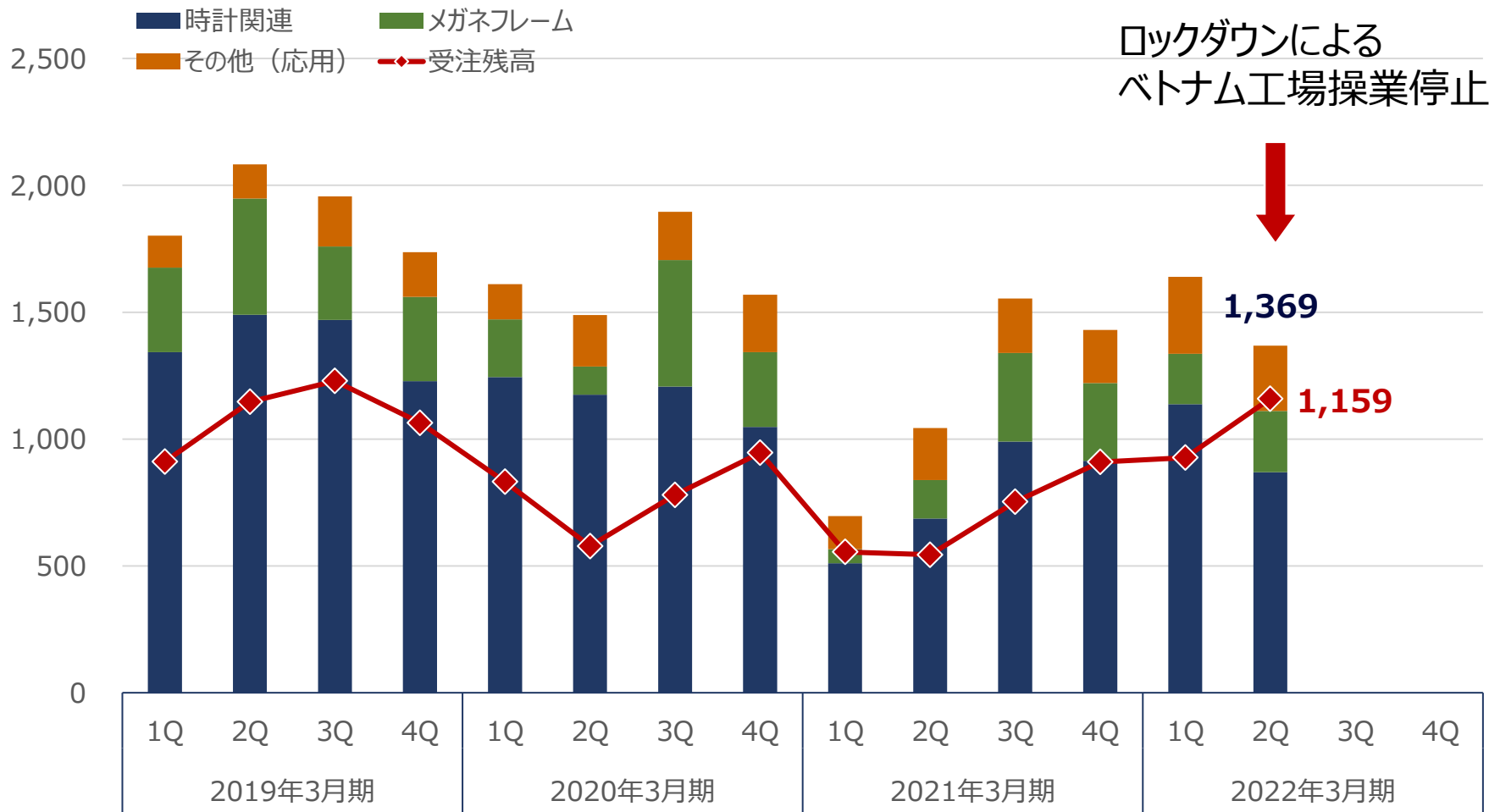
2022年3月期2Q累計
売上高構成



2Q累計売上高・セグメント損益の推移

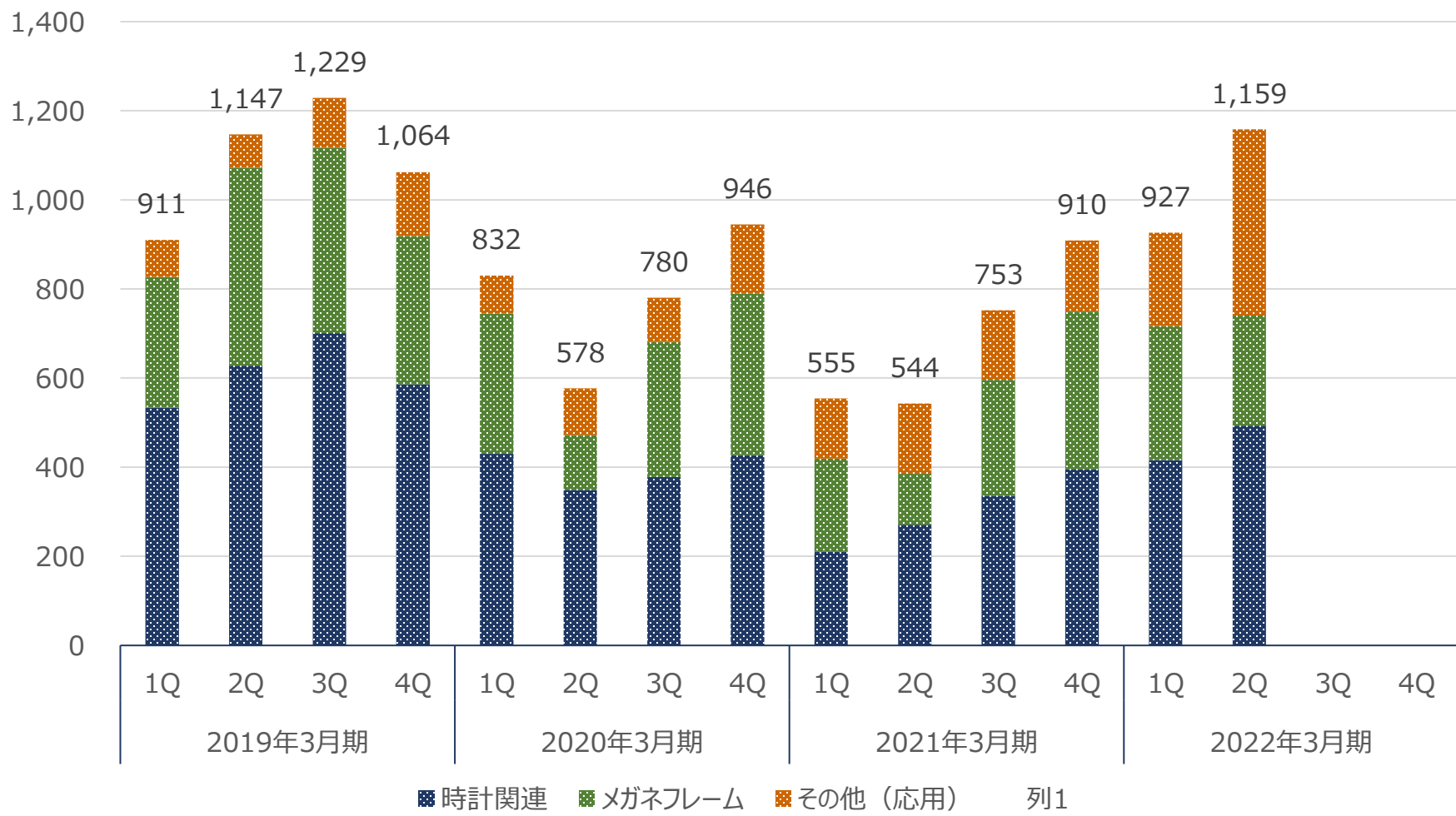


2022年3月期 第2四半期 決算概要 受注高・受注残高の推移



2022年3月期 第2四半期 決算概要

受注残高の推移



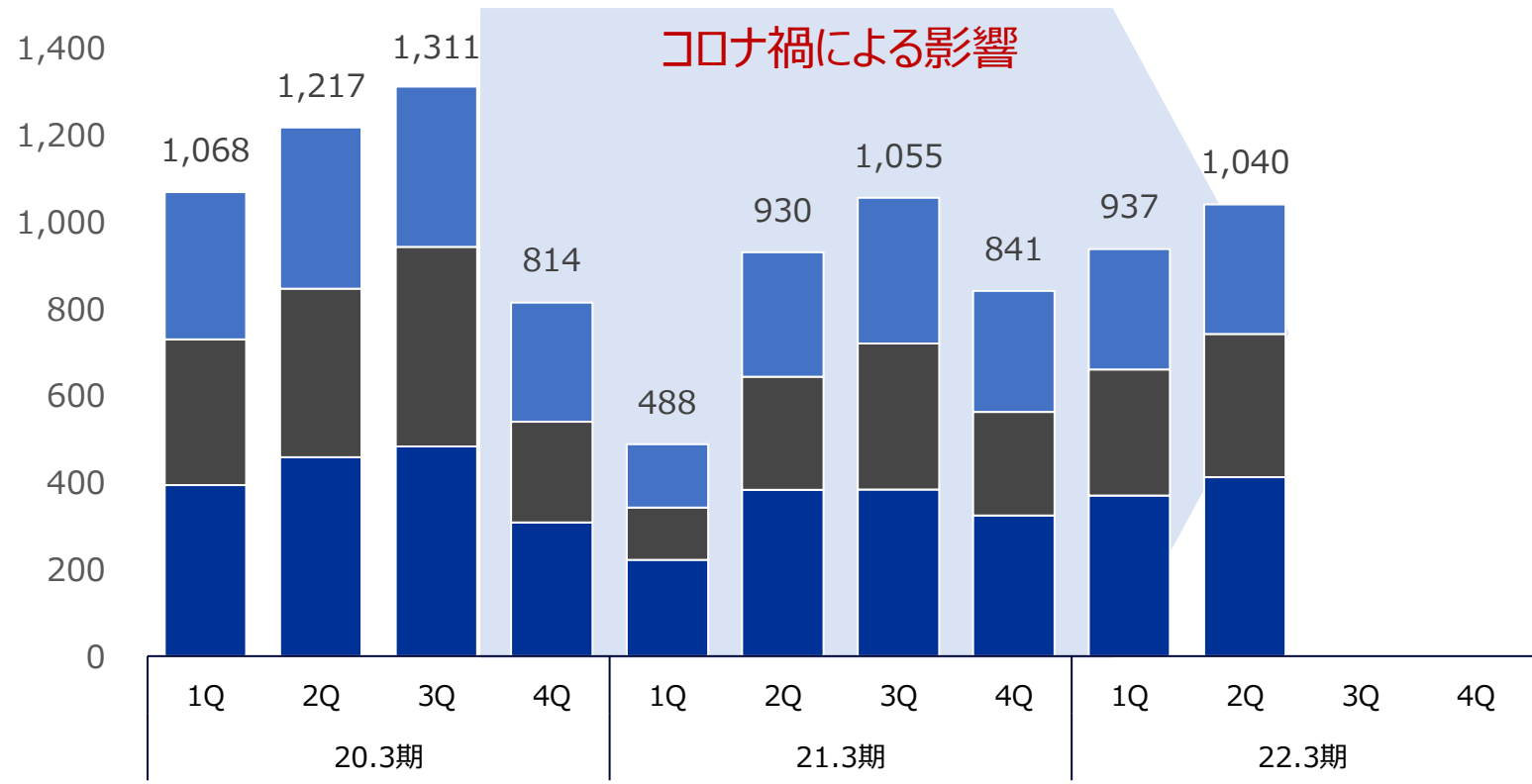


セグメント別概況：時計部門 ①

国内大手時計メーカー3社合計：コロナ前は下回るものの回復歩調

《ご参考》 国内主要時計メーカー 時計事業売上高前期比較

- カシオ
- シチズン
- セイコー



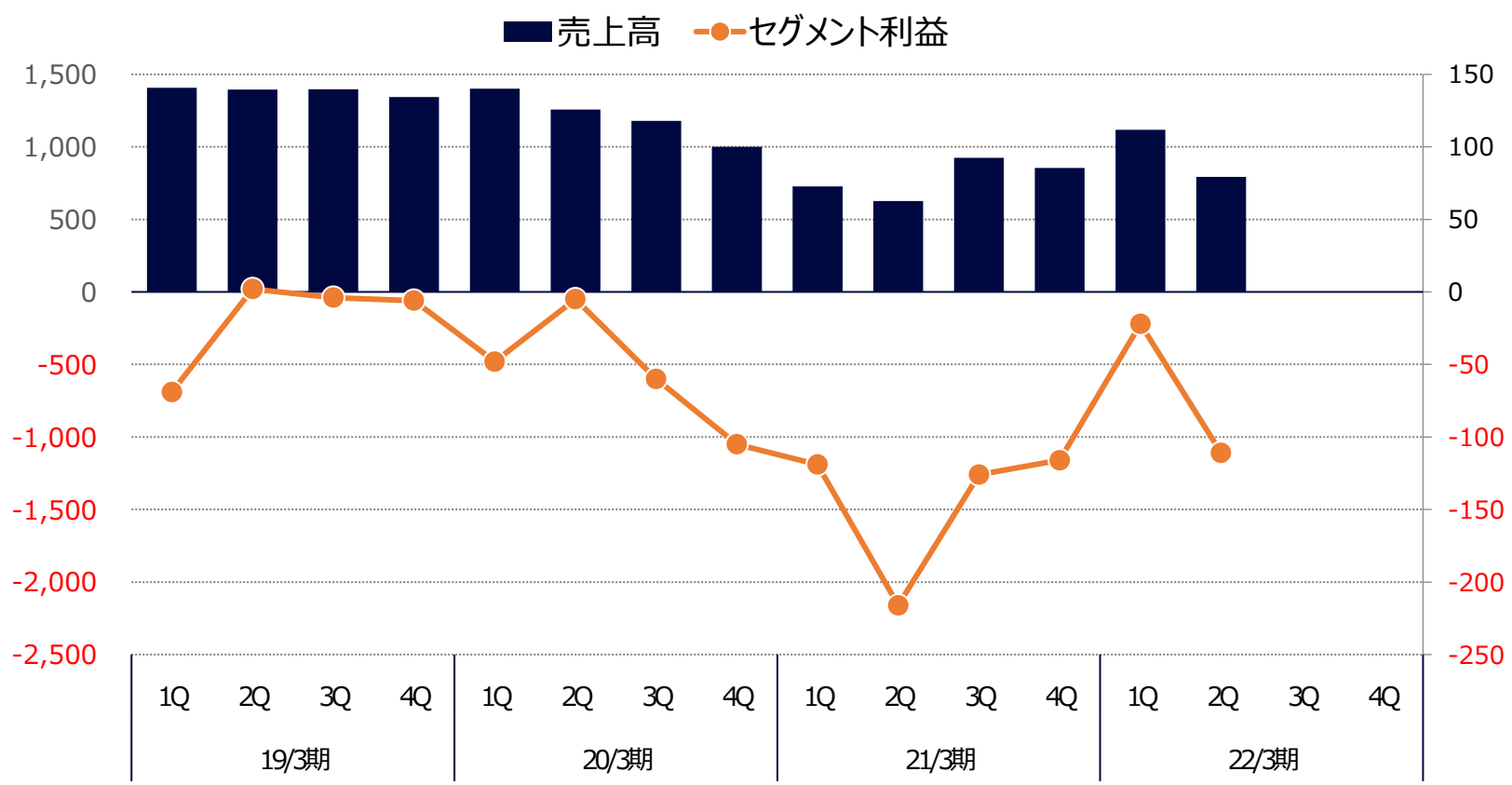
出所：各社決算説明資料より当社作成



セグメント別概況：時計部門 ②

ベトナム工場操業停止の影響が響き2Qは減速。

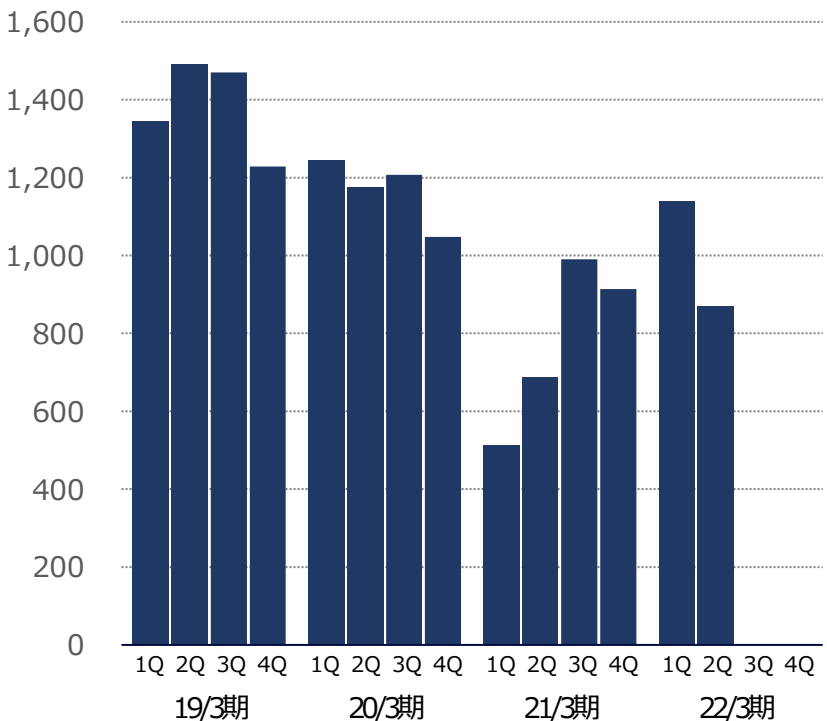
売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



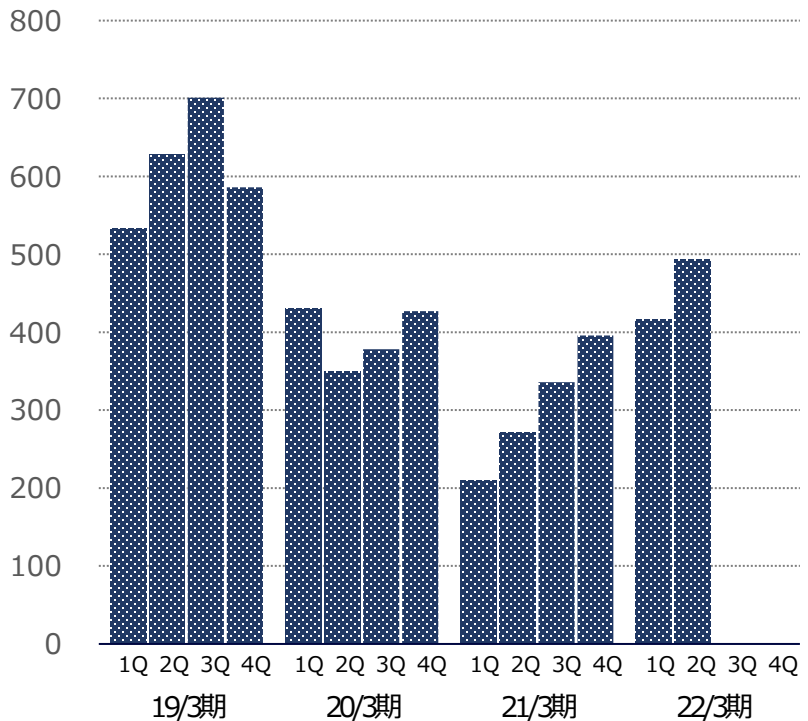


受注状況は活発。受注残高は高い水準まで回復。

受注高四半期推移



受注残高推移

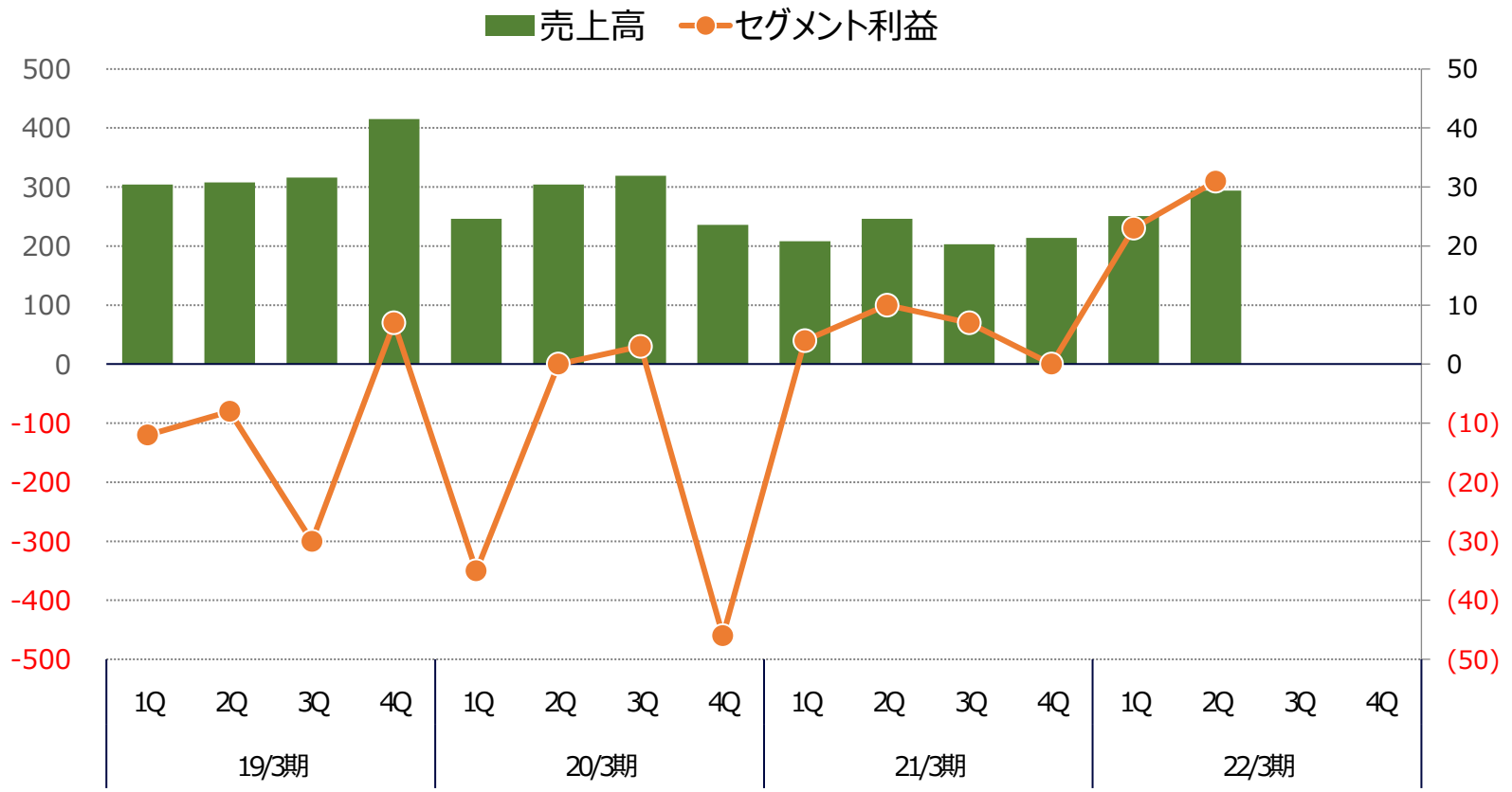




セグメント別概況：時計部門 ①

構造改革により利益の出る体制を確立。売上高も徐々に回復。

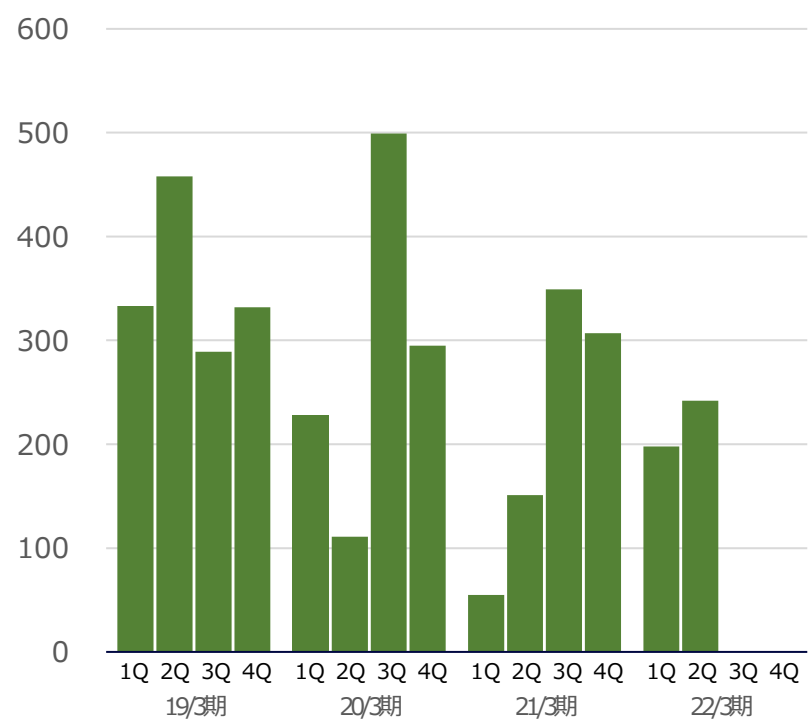
売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



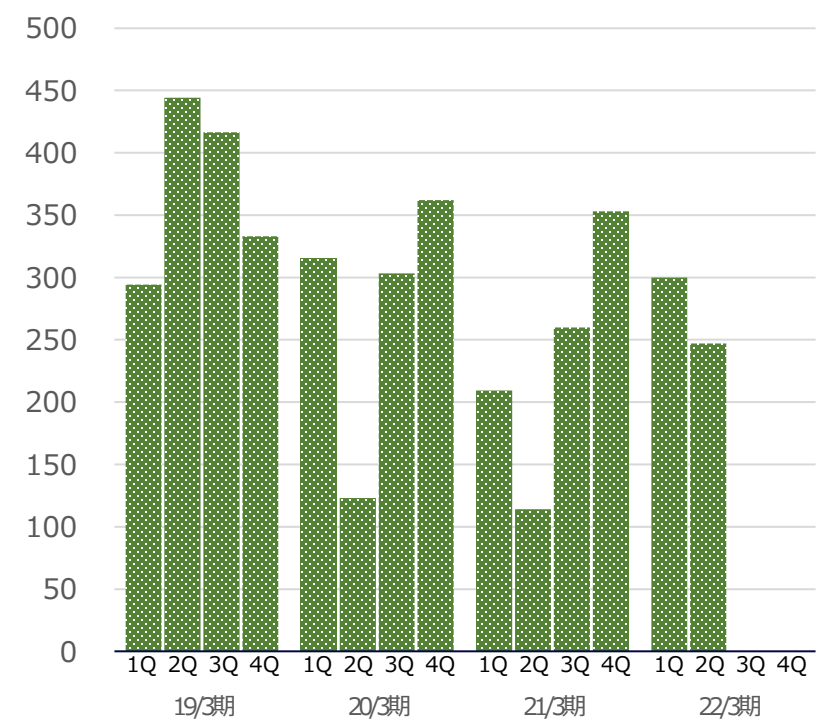


受注高、受注残高ともに2020年3月期を上回る水準。

受注高四半期推移



受注残高推移

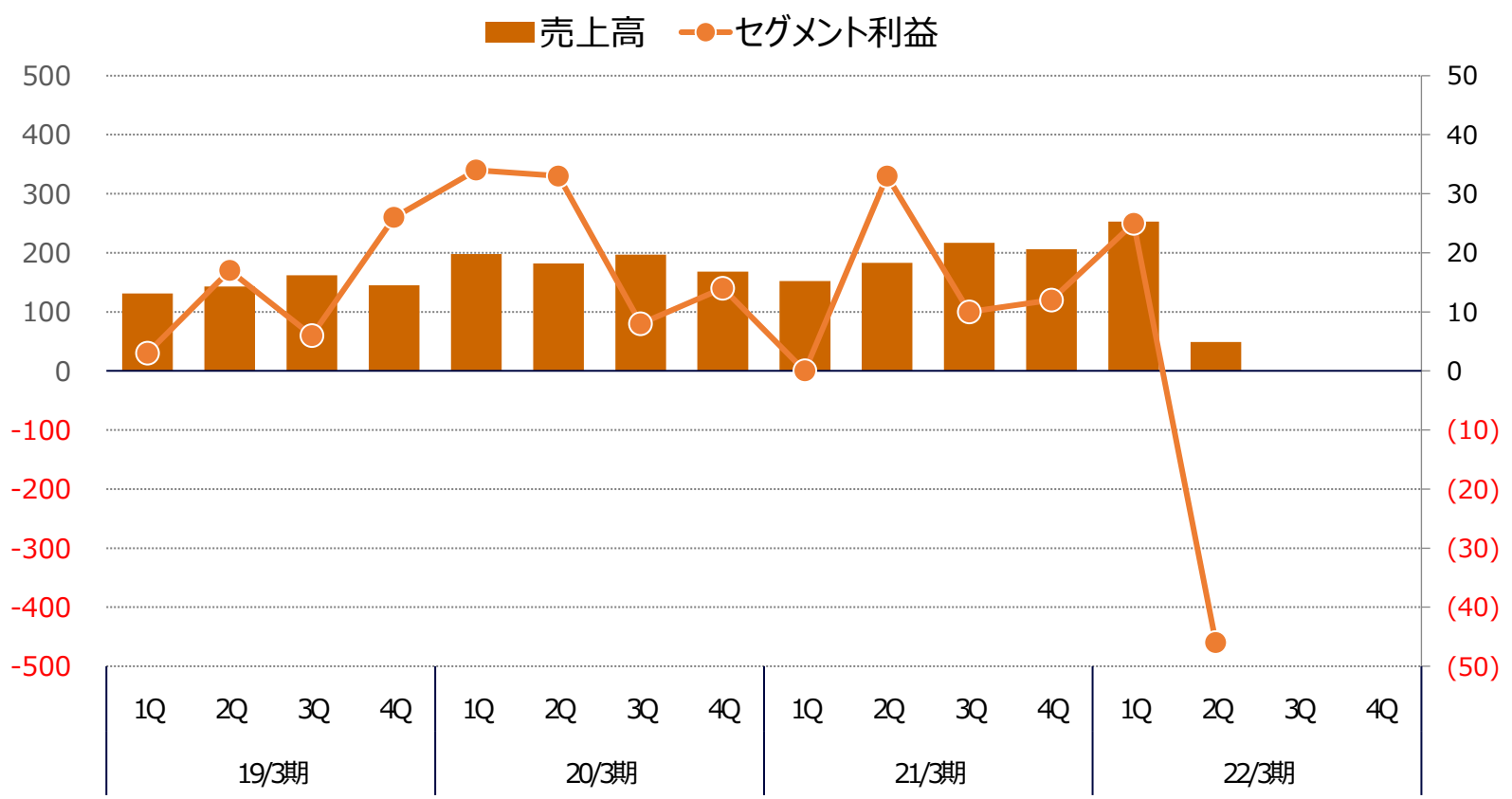




セグメント別概況：その他（応用）部門 ①

ベトナム工場操業停止の影響が響き2Qは減速。

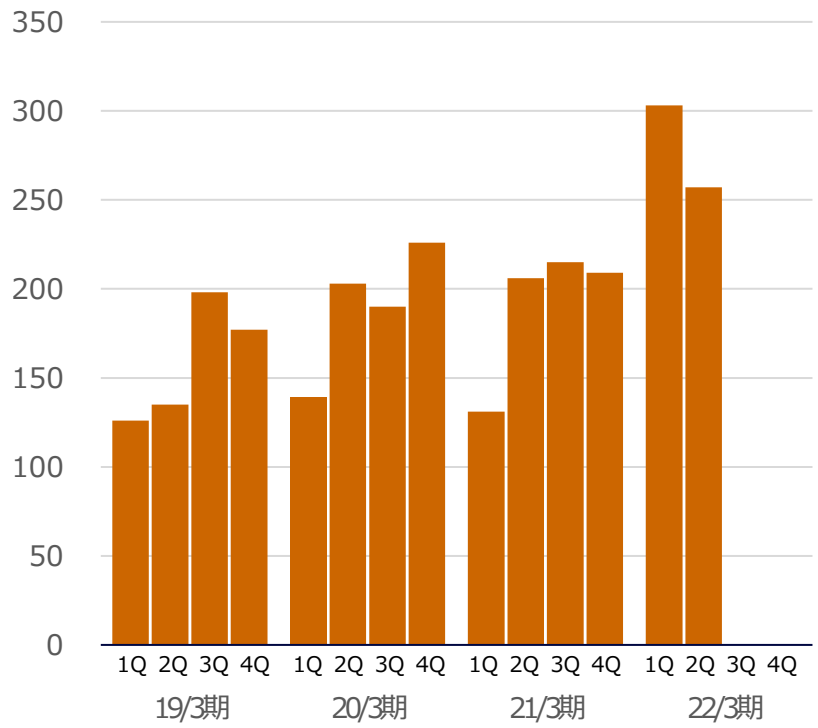
売上高・セグメント利益（右目盛り） 四半期推移



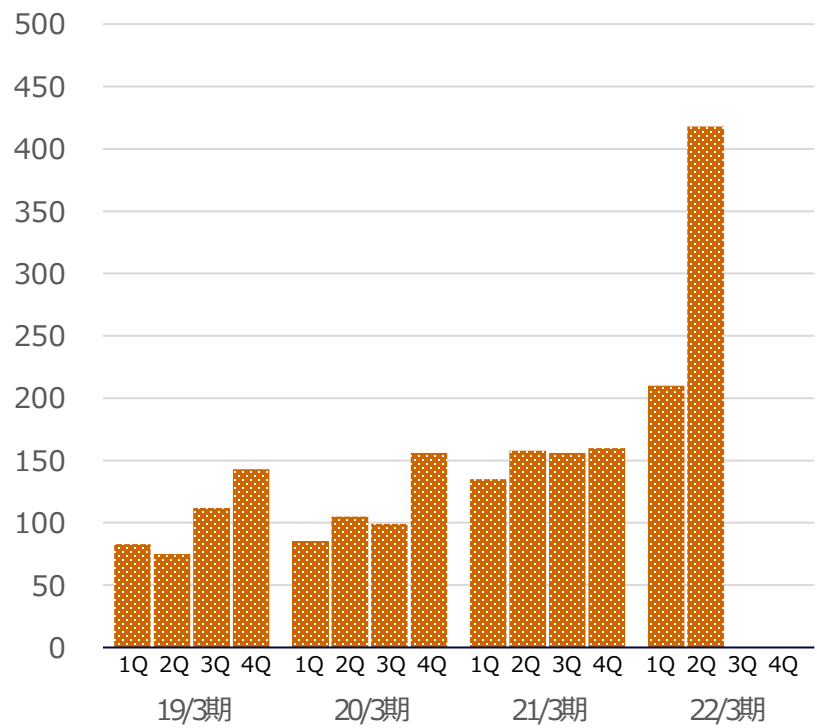


釣具、ウェアラブルを中心に受注増加。工場操業停止もあり受注残増。

受注高四半期推移



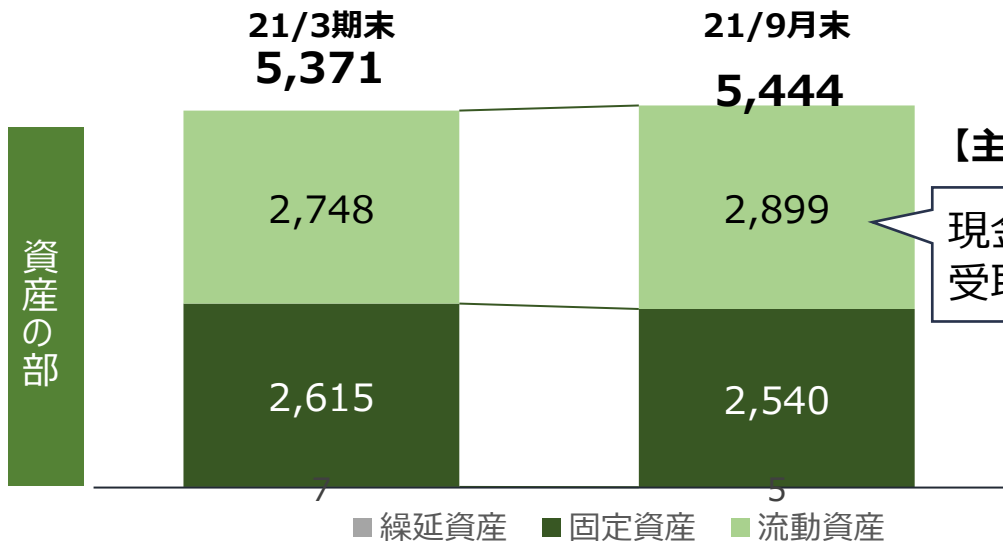
受注残高推移



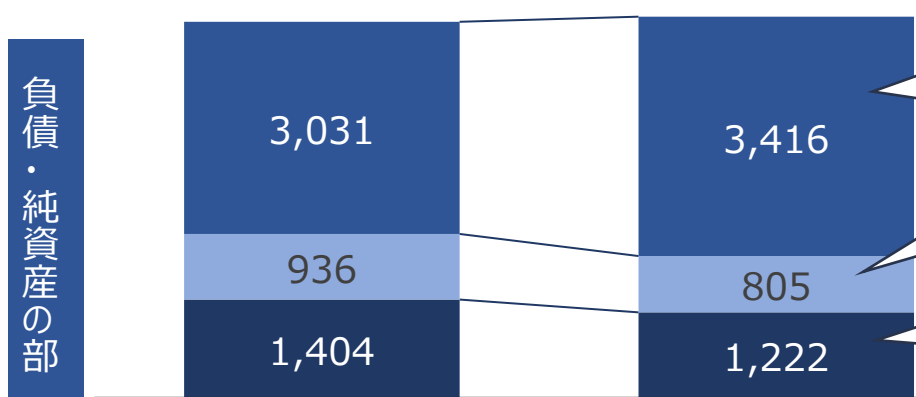
2022年3月期 第2四半期 決算概要

B/Sの状況 (連結)

自己資本比率：22.5%



【主な増減要因】
 現金及び預金：200百万円増加
 受取手形及び売掛金：191百万円減少



支払手形及び買掛金：221百万円増加
 1年内返済予定の長期借入金：132百万円増加
 長期借入金：137百万円減少
 利益剰余金：171百万円減少

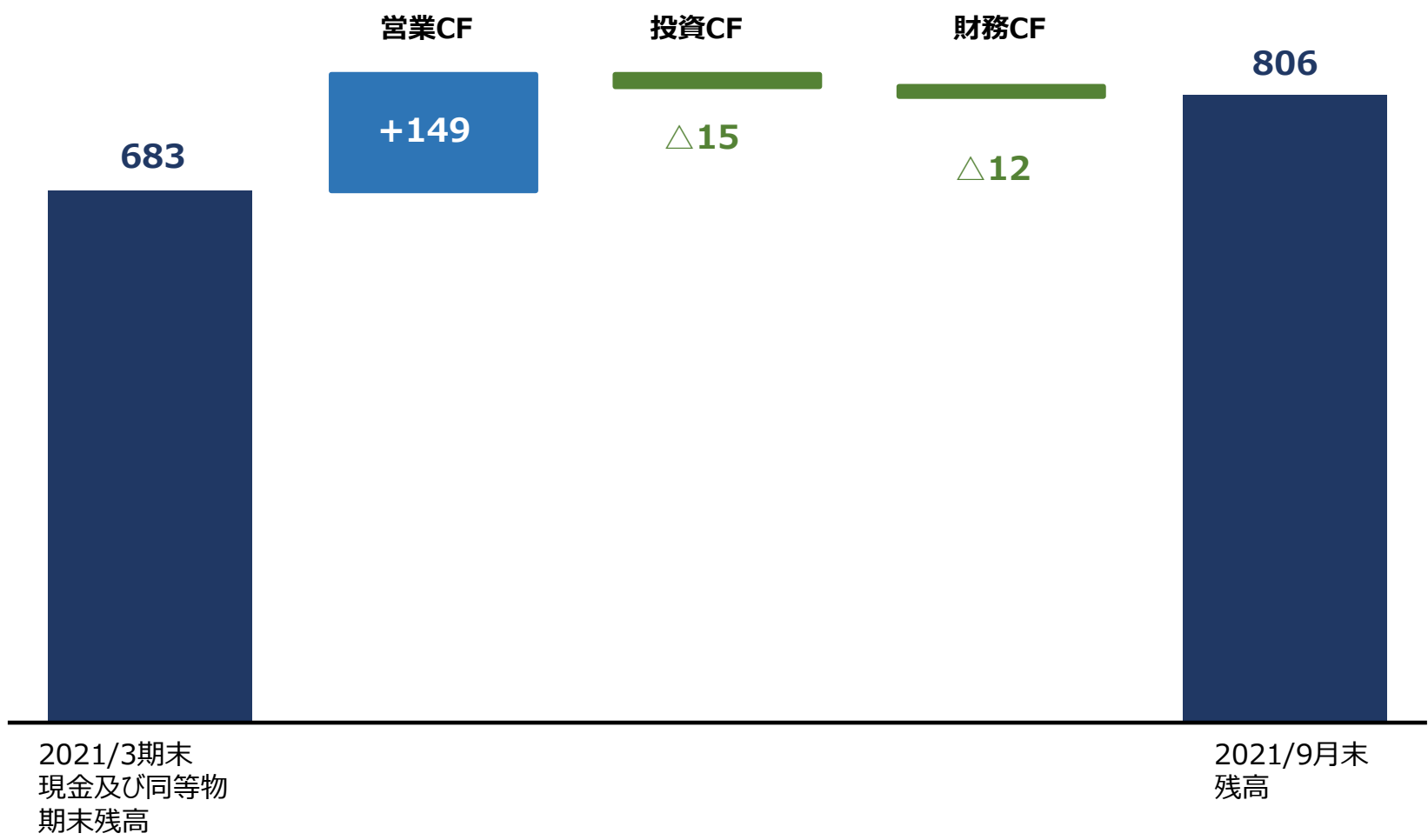
単位：百万円 ■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

2022年3月期 第2四半期 決算概要

CFの状況 (連結)



【2020年3月期末比較】 単位：百万円



【2022年3月期通期見通しについて】

【前提】

新型コロナウイルス感染症の影響による下振れリスクは残るものの中国・アメリカを中心に回復基調。引き続き三密を避ける行動様式は継続。

【下期方針】

全社 : ベトナム工場操業停止による減速の早期挽回。

積極的な受注活動と構造改革の継続により営業利益黒字化。

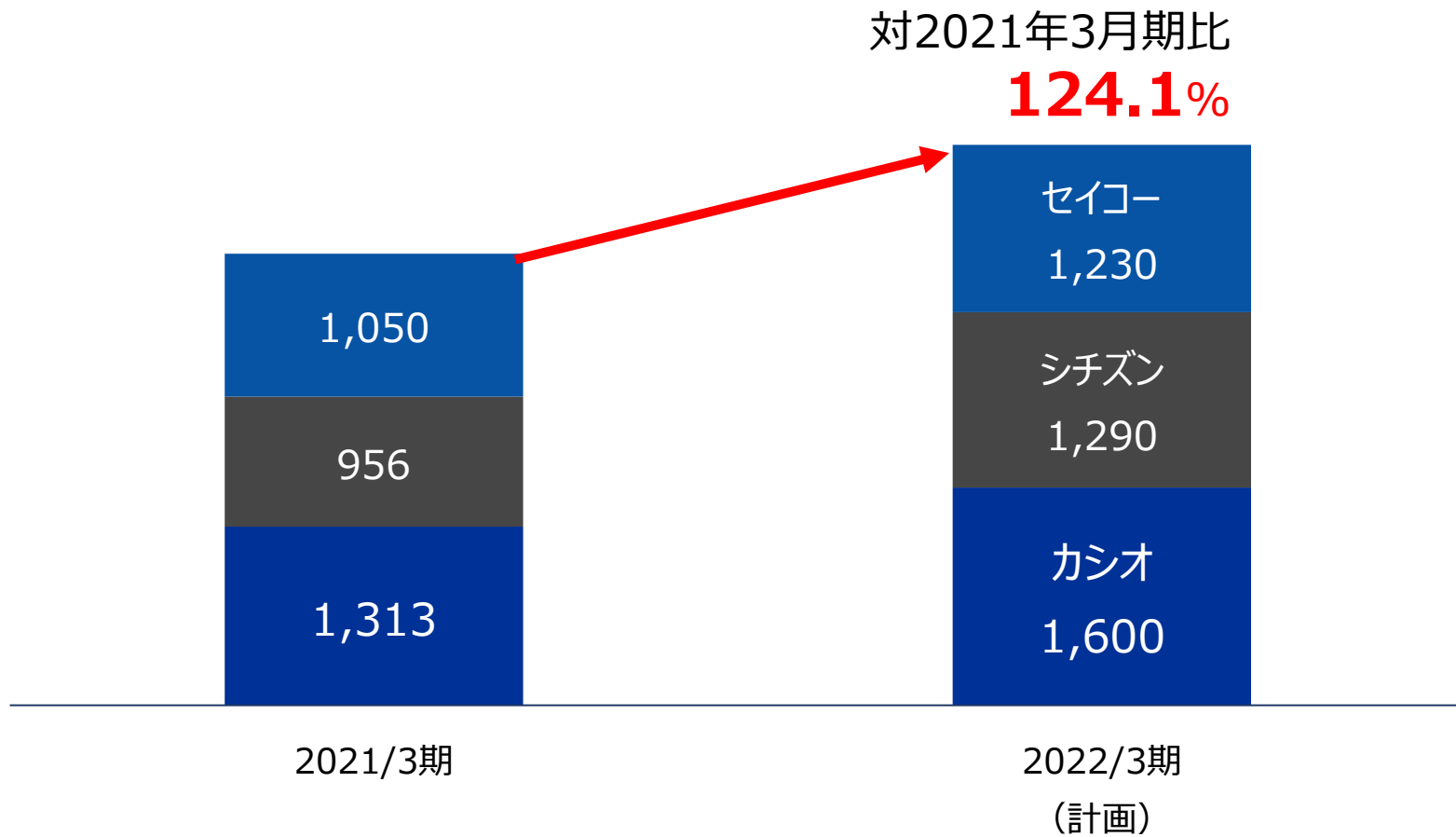
時計 : 既存取引先のシェア拡大、新規取引先開拓と生産性向上の取組強化による黒字確保。

メガネ : 黒字体質を維持。更なる収益拡大を目指し基盤強化。

その他 : 応用課での新規製品受注強化。釣具における顧客ニーズに応えるクオリティの提供。

単位：百万円	2022年3月期 予想	2021年3月期 実績	前期比較
売上高	5,575	4,767	+16.9%
営業利益	44	△481	-
経常損益	2	△529	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△37	△631	-

【ご参考】国内時計メーカー時計事業2022年3月期業績計画



出所：各社決算説明資料より当社作成

肌に優しい金属加工技術

APPENDIX

会社概要 (2021年9月末)

社名	日本精密株式会社 (NihonSeimitsuCo.,Ltd.)
住所	埼玉県川口市本町4-1-8川口センタービル8階
設立	1978年8月
上場	東京証券取引所JASDAQ市場 (1997年9月25日)
代表取締役	井藤 秀雄
事業内容	時計バンド及び時計関連部品の製造、販売、メガネフレームの製造、販売、イオンプレーティング (表面処理加工)、釣具用部品、静電気除去器、その他製品の製造、販売
連結子会社	4社、関係会社2社
従業員	2,339名 (連結)
決算	3月
資本金	2,018百万円
発行株式数	22,238,299株
株主数	3,285名



代表取締役社長 井藤 秀雄

2001年8月 当社 入社
 2007年7月 当社 上席執行役員
 2008年12月 当社 常務執行役員
 2009年6月 当社 取締役常務執行役員
 2018年6月 当社 代表取締役社長 (現任)
 (株) 村井 代表取締役 (現任)

沿革

製品・技術

【その他】

'18 音響用部品供給
'17 コラントツテ
'98 釣具用プレス部品
'97 OA機器部品及び自動車用プレス部品

精密金属加工技術を仕事や生活のあらゆるシーンへ展開

【メガネ】

'95 ドイツ・ヨーロッパ向けにOEM(チタニウム製)
'94 チタニウム製

時計の外装で培った技術を応用し付加価値の高い製品開発を実現

【時計】

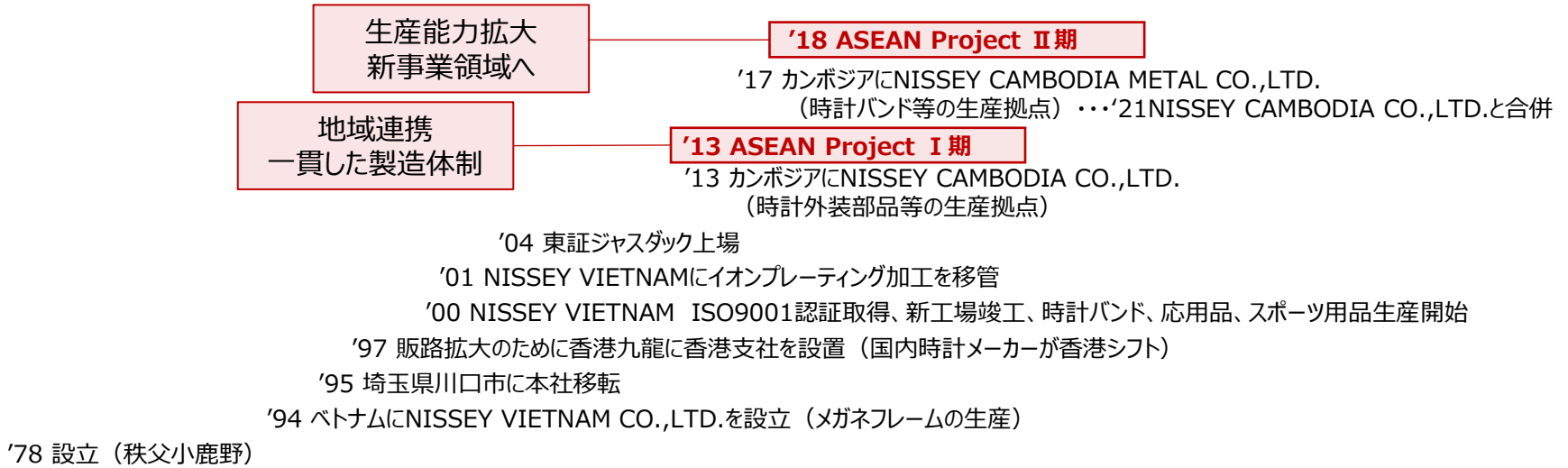
'97 (スイス)RADOに超硬材(タンガステンカーバイド)素材の高級腕時計バンド
'95 (スイス)RADOに金無垢/セラミックス素材の高級腕時計バンド
'94 時計等装飾品のイオンプレーティング加工
'83 業界初の超硬セラミックス製・純チタニウム製時計バンドの製造・販売
'81 (スイス) RADO
'78 カシオ

ブランドストーリーやその魅力は、時計のフェイスのみならず、技術を施したバンドの存在なしには語れない

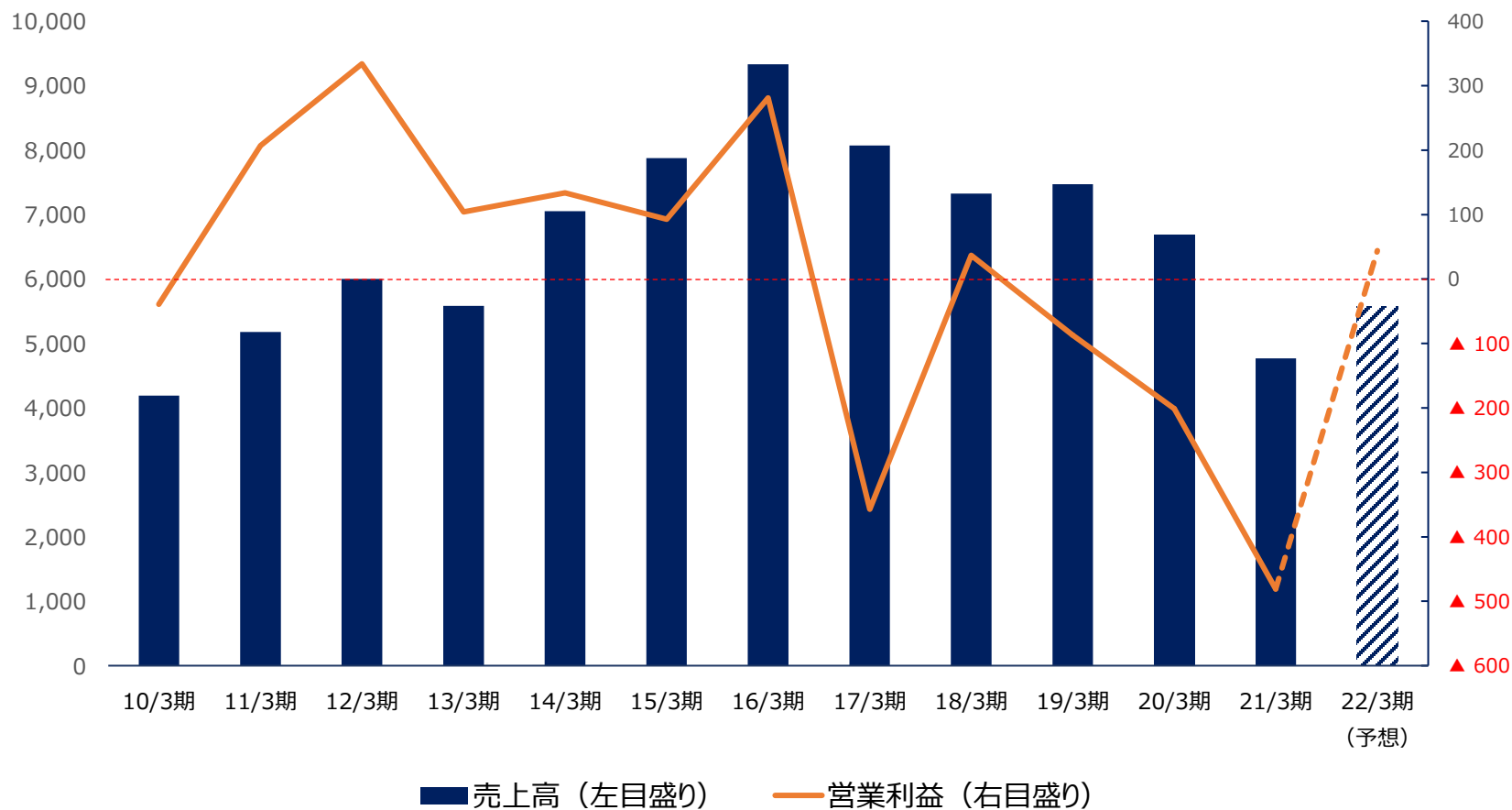
- ブランドキャラクターを表現する技術
- 一貫生産体制で低コスト

1978年～ 1990年～ 2000年～ 2010年～ 2020年～

沿革



過去からの業績推移



単位：百万円

生産・開発拠点

ASEAN地域を一体と考えた 戦略的生産体制を構築



本社（埼玉県川口市）

経営の根幹である経験豊富な人間力で、企画開発・販売計画など全てを一元管理。また、一貫した経営管理によりコスト削減。

(株)村井：連結子会社

エヌエスジー(株)：連結子会社

香港支店

ベトナム、カンボジアで製造未対応の部品を低コストで中国より調達。営業・販売の基点として重要な役割を今後も担う。

NISSEY VIETNAM CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造
- ◎ メガネフレームの製造
- ◎ 釣り具部品等の製造 他

高級品向け製品を製造

同時に、今後も当社グループの技術開発の中心としてさらに強化

NISSEY CAMBODIA CO.,LTD.

- ◎ 時計外装部品等の製造
- ◎ 腕時計バンド（ステンレス無垢バンド）の製造

普及品～中級品向け製品を製造

将来的には、隣接地に協力工場等を誘致し、
一大サプライチェーンを構築



日本精密株式会社

手のひらロマンで世界を刻む

本資料は、今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料は注記のない限り2021年9月30日現在の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようにお願いいたします。

コーポレートスローガン

『手のひらロマンで世界を刻む』

手のひらロマンで世界を刻む

キャッチフレーズ

『肌に優しい金属加工技術』

肌に優しい金属加工技術